

お魚ピチピチ

楽しかったデイキャンプ

岡田校区愛護部連絡協議会キャンプ部

大西桂子



▲全員集合!!

た子、おそろおそろ魚を触っている子、手際よくザクザク野菜を切る子など、大にぎわい。目玉が500円玉位あるイカも見事サシミにしてしまいました。飯ごう炊飯をして、懐かしいおこげのご飯も味わいました。

まな板がわりに牛乳パックを開いて使ったり、水場が少ない時は、ペットボトルに水を入れてもっていったり、物があればあるなりに、なければないなりに工夫するの、キャンプならではのかな、と思

7月28日(日)、真夏の太陽の照りつける中、総勢71名で伊予市森の海岸にデイキャンプに行ってきました。
名誉村長さん(館長さん)のお話を聞いてから、いざ出発。
さて、どんなお魚がとれるのかな?地引き網体験では一生懸命引つ張ったかいあつて、イカ、コダイ、アジ、ハギ、中にはサメや名前のわからない魚もピチピチはねていました。バーベキュー会場では、イカスミで手が真っ黒になっ



▲いっぱいとれたよ



▲楽しい調理

班活動することで子どもも大人もお互い協力することを学び、有意義で楽しい一日を過ごしました。

最後に、子どもたちの声をいくつか紹介します。

地引きあみをしたら魚がたくさんとれました。サメもいました。(四年 松野宏紀)
一番おかしかったのは、ぼくが海でころんだことです。(四年 國廣建太)

イカのすみが手にいっぱいついて真っ黒になりました。(四年 松野真莉子)

夏休みの思い出ができました。来年も行きたいです。(五年 大西智也)

水あそびがとてものしかったです。小学校最後の夏休みのいい思い出になりました。(六年 加藤早紀)

「非暴力・不服従の精神」から学んだこと

松前中学校人権・同和教育主任

中島義人

先日、第一次世界大戦についての授業をしました。その中で、大戦後、大英帝国によるインドの植民地支配、民族差別を打ち負かし、3億5千万人のインドの民を自由にしたガンジーという人物について勉強しました。

非暴力・不服従を唱え、不屈の闘志と強い意志でインドの独立を勝ち取ったガンジーの生き方は多くの生徒の心を動かしました。

「ガンジーが成功したのはイギリス人に殴られても抵抗せずに頑張り、傷だらけになっても、差別はおかしいと最後まで訴えたからだと思う。」

「ガンジーは民衆の心をつかみ取っていたんだと思います。たった1人の気持ちや行動で民衆の心を動かすことはなかなかできないことであつて、それができたのはガンジーの強い意志、心があつたからこそだと思います。こんな素晴らしい人の心が、いろいろな人にあると思います。」

「ガンジーのやったことは誰にでもできるようなことではないと思います。ガンジーのような心を持った人が多くなれば、差別はなくなると思います。」

ガンジーは、まず自分たちインド人の心の中にある差別意識をなくすことにより、身近な差別をなくしていき、それが、イギリスからの独立を達成するということにつながつたと言っています。

彼の偉業をたたえ、インドの人々は独立の父として彼をマハトマと呼びます。それは「偉大なる魂」を意味するインドの敬称です。アインシュタイン博士も彼をたたえて次のように言っています。

「未来の人たちは信じられないだろう。このような人が地球上に実在していたことを。」
私たちはこのガンジーの思想や行動をもとにして、自らの生き様とのかかわりを明確にしなが、人権・同和教育を学び続けることが大切です。